

// 今こそ役立つ! //

事業者の男女共同参画

男女共同参画社会の実現に向けて

らびらす

特別号



「働きやすさ」は困難な時代を乗り越える武器になる!

仕事と家庭の両立支援、テレワーク等の多様な働き方の導入など、従業員が働きやすい環境を作ることは、変化の激しい現代社会や、新型コロナウイルスの感染拡大という非常事態でも、事業者の発展に役立っています。

今回は、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画の推進に積極的に取り組んでこられた、「世田谷区男女共同参画先進事業者表彰」の歴代の受賞事業者にアンケートを実施し、うち1社に、受賞後の変化や新たな取組みについてお話を伺いました。

常に柔軟に変化し続ける企業でありたい

「平成30年度世田谷区男女共同参画先進事業者表彰」を受賞した(株)エス.ディー.ケイから、坂口輝昭社長と社員の片倉麻希子さん、朝倉静香さんに登場していただき、その後の取組み状況などについてお話を伺いました。

●平成30年度の受賞後、社内に変化はありましたか?
また、さらに取り入れた取組みは?

坂口: 弊社は、受賞前も後も、その時々社内には生じる課題や問題点を改善・解消することは継続しています。課題や問題というのはその時々で変わり、人によってもさまざまなので、そういう意味では弊社は常に変わり続けているといえます。今のコロナ禍の現状でいうと、たとえば事務職の2人は子育てをしながら働いていて、お子さんの調子が悪ければテレワークをしていますが、そこは他の社員も同じです。部長の一人が介護世代で、ご両親の調子が悪いときは出社が難しいのでテレワークをし

ています。会社としては以前から社員の直行直帰を認め、コロナ以降は特に移動にも社用車を使うようにしてもらっています。また、弊社は全国展開での仕事をしていますので、(弊社に就職したい人がいたとして)東京で就職しなくてもいい職場環境をつくりつつあるんです。



代表取締役 坂口輝昭さん

株式会社 エス.ディー.ケイ (電気工事業)

平成30年度 表彰理由

- 1 女性従業員1名が育児休業を取得している。
- 2 保育園や幼稚園の送迎がある社員について、勤務時間を調整している。
- 3 事務処理やデータ入力、図面の作成など、テレワークを導入している。テレワークを活用し働けるよう専門分野の講習会を実施している。
- 4 建築士の免許を持つパート(女性)を社員登用することで、「建設業」の業種を新たに取得した。

▶ 世田谷区男女共同参画先進事業者表彰

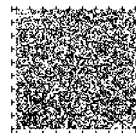
男性も女性も性別に関わりなくいきいきと働き、一人ひとりが個性と能力を発揮して互いに支えあう豊かな地域社会をめざして、仕事と子育てや介護などの家庭生活との両立支援や、女性の活躍推進などに積極的に取り組む事業者を表彰しています。

表彰や過去の受賞事業者の詳細について、詳しくは

世田谷区男女共同参画先進事業者表彰



このマークは目の不自由な方のための音声コードです→



坂口: わたしが経営者として考えていかなければならないのは、業績を上げることと、社員が抱える課題や問題点をどうサポートしていくかです。具体的には社内規程など社員がより働きやすい方向へ変えていくことですが、それはコロナに関係なく今も引き続き行っていますし、都度、対応できるようにしています。

●実際にテレワークをしてみても、よかったと感じていることは?

片倉: 入社当時、下の子の出産に加え、上の子の子育ても抱えていたので、在宅勤務というのはとてもありがたかったですね。いま上の子は小学2年生で学童保育に、下の子は2歳で保育園に預けていますが、そうした生活の変化に対しても、その都度働き方を変えながら働かせてもらっています。



朝倉: わたしは昨年4月に転職で入社し、事務として働いていますが、子どもが2人いてひとり親家庭なので、テレワークができる職場環境であることはとても助かっています。

実は転職した理由もそこで、前の会社が通勤に2時間近くかかる所に移ることになったのがきっかけでした。大きな災害が起きた場合、すぐに帰宅できないという状況に陥るのは何としても避けたかったです。

今のコロナ禍でも、引け目を感じることなく家で仕事ができるというのは精神的にも助かります。緊急事態宣言で学校も変則的になり子どもが家にいることが多いので、家庭の状況に合わせて「午前中だけ会社で、午後からは家で」あるいは終日テレワークが可能な今の働き方はとても助けられています。

坂口: 僕が非効率なことが嫌いだから、社員みんなにもさせない、というスタイルなんです。

会社としてのメリットは、以前からテレワークを導入しているのでお客様ともZOOM会議を多用しています。直接足を運ばなくともZOOMで重要な打ち合わせができてしまうので、お客様からは喜んでもらえるし、コロナ禍で



▲朝倉静香さん
事務職(勤続1年) お子さん2人(14歳・11歳)

▲片倉麻希子さん
事務職(勤続5年半) お子さん2人(8歳・2歳)

も仕事は順調に増えています。

●テレワークで不便に感じることは?

片倉: コミュニケーションが取りづらい部分はありますね。弊社の場合、LINEなどのSNSを使っていて連絡は常に取り合えるのですが、リモートだと直接会って話すのと違い、誤解が生じやすい場面があるように感じます。

坂口: リモートで打ち合わせができるとはいえ、やはり、対面で会うことも大事だと考えています。SNSは「文字」なので、文字だけ見ると真意が伝わら

ないこともあるんですよ。でもそれは、緊急事態宣言が解除されてからでも問題ないと思っています。

●テレワーク勤務は時間で区切られているのですか? それとも業務の内容で?

朝倉: 出社のときは、何時から何時までと時間枠が決まっています。テレワークの場合、それを意識しながらではありますが、その時々に応じて優先度を自分で決めて取り掛かるようにしています。

受賞事業者アンケート

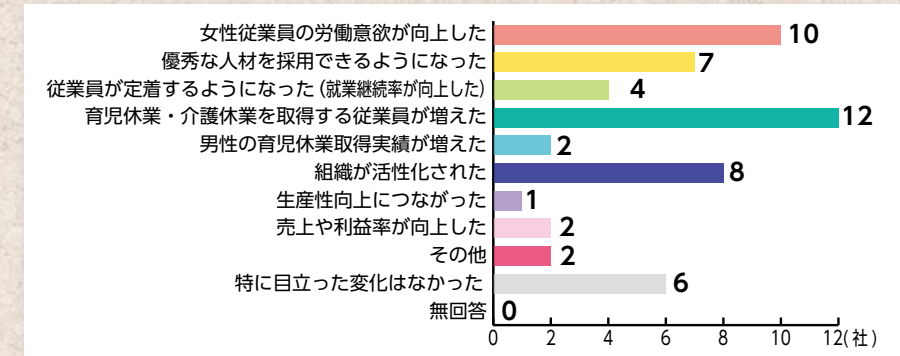
※受賞事業者の一覧はp.4(裏表紙)に掲載しています。
※回答については、原文の趣旨を損なわない範囲で一部表現を変えています。

平成19年度から令和元年度までの「男女共同参画先進事業者表彰」の受賞事業者計40事業者にアンケートを行い、表彰の効果や、コロナ禍での取組みについて尋ね、27事業者に回答をいただきました。アンケートの一部を抜粋してご紹介します。

●表彰受賞後の社内の変化

21社が効果を実感。「育児休業・介護休業を取得する従業員が増えた」が12社、「女性従業員の労働意欲が向上した」が10社、「組織が活性化された」が8社と、社内の取組み強化や社員のモチベーションアップにつながっています。

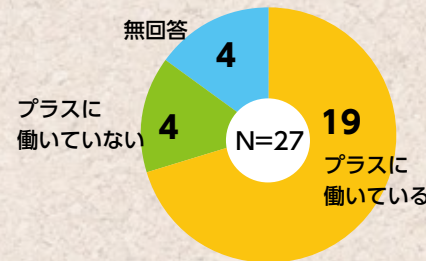
Q. 男女共同参画先進事業者表彰を受賞したことにより、貴事業者の社内では、これまでにどのような変化がありましたか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



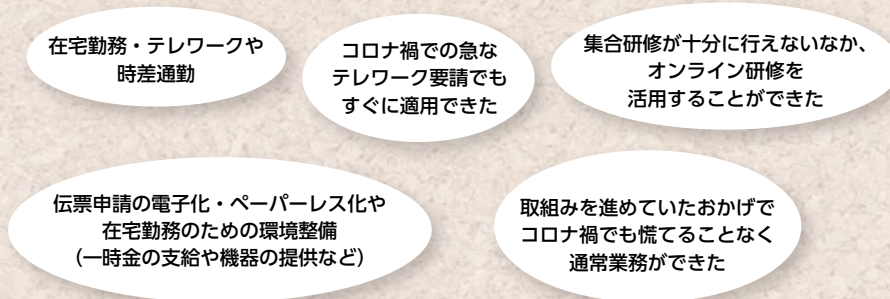
●コロナ禍での取組み

コロナ禍においても、男女共同参画推進の取組みが「プラスに働いている」は19社。とくにテレワークをはじめとする多様な働き方の推進が有効だった、という答えが多く寄せられました。

Q. コロナ禍において、受賞理由となった取組みはプラスに働いていますか。該当するもの(いずれか1つ)に○をつけてください。



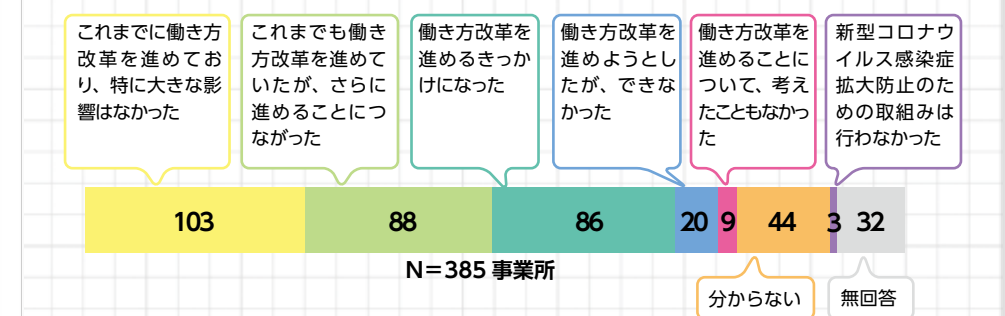
Q. プラスに働いた具体的な取組みとは?



TOPICS

「区内企業の男女共同参画に関する意識・実態調査」を実施しました
令和2年11月、区内にある従業員数20人以上の全事業所(2,379件)に調査を行い、385事業所から回答をいただきました。調査結果から抜粋してご紹介します。

<コロナ禍での取組み>



在宅勤務や時差出勤など、コロナ禍での取組みと働き方改革への影響について尋ねました。

「これまでも働き方改革を進めていたが、さらに進めることにつながった」が22.9%、「働き方改革を進めるきっかけになった」が22.3%となっており、合わせて「新型コロナウイルス感染症が働き方改革を進めることになった」という回答が45.2%と4割半ばを占めています。

※詳しい調査結果は、まとまり次第、世田谷区ホームページに掲載します。



るのなら、しっかりと環境を整えてからのほうが社員の負担は少ないと思います。

片倉: それに加えて、リモートだと、やはりお互い家にいて相手がどういう状態にあるのかがリアルタイムに分からない部分があるので、その共有をどう図っていくかが難しい点なのかなと思います。

たとえば仕事をしている傍らに子どもがいて、何かひっくり返してしまってパタパタしているとすぐには対応できないですね? でもそこはテレワークである以上、みなさん広い心で見ただければと(笑)。

お話、とても参考になりました。
ありがとうございました!

世田谷区の事業者向け支援

令和3年4月以降の事業です。詳しくはそれぞれのお問い合わせ先までご連絡ください。

事業名	支援内容	お問い合わせ先(注)
リスタートータル支援① 中小企業等ハンズオン 支援事業	コーディネーターが小規模事業者(対象:30事業者程度(選定審査あり。))の経営課題を整理し、区内のビジネス実践者などの専門家が新規事業の発案を支援するとともに、フォローアップを行います。新規事業経費については、補助金(補助率2/3、上限150万円)を交付します。	経済産業部商業課 電話:03-3411-6667
リスタートータル支援② 業態転換及び新ビジネス創出 支援補助事業	「新しい生活様式」へ対応した業態転換や経営の多角化等新たなサービスを実施するための経費を一部補助(補助率2/3、上限30万円)します。(対象:100事業者程度)	経済産業部商業課 電話:03-3411-6668
せたがやPay	地域通貨「せたがやPay」の活用を促進することで、区内消費拡大により個店の支援及び区民の利便性向上を図ります。コロナ禍で大きな影響を受けている個店支援として、30%プレミアム付の電子商品券を発行。 ・事業開始:令和3年2月20日・発行総額:2億6千万円(割増30%含む) ・割増30%分の有効期限:令和3年9月30日	経済産業部商業課 電話:03-3411-6667
職場環境整備支援事業	令和3年度前半に、区内中小企業3社をモデル企業として選定し、選定した企業の業務の点検、洗い出し・見直し・切り出し等の棚卸しを図り、テレワーク制度等の導入や多様な就業形態の導入に係る総合的な支援を無料で実施します。取組内容・結果を冊子にし、好事例として区内企業へ周知します。	世田谷区内中小企業の職場環境 整備促進事業事務局 電話:03-6734-1152
世田谷で働こう!プログラム	合同企業説明会、定着促進研修・採用セミナー、採用・定着コンサルティング、社員個別カウンセリングなどを無料で活用できます。	世田谷で働こう!事務局 電話:03-6734-1303
短時間/短期間就業マッチング 『せたがやWork&Plus!』	WEB企業説明会、多様な働き方に向けた社内環境構築へのサポート、本事業専用サイトへの求人情報の掲載などを無料で活用できます。	せたがやWork&Plus運営事務局 電話:03-6894-3314
シニア就業マッチングサイト [GBER(ジーバー)]を 活用した実証実験	区では東京大学先端科学技術研究センターと共同で、シニア就業マッチングサイト[GBER]を活用して、利用者・事業者の利用データに基づき、マッチングのためのAI開発研究(実証実験)を行なっています。本事業は、令和4年からの本格実施を目指し、現在GBERに掲載する仕事を切り出し、求人(業務委託)案件化、シニアの心に訴える仕事情報の作成などに、事務局とともに取り組む事業者を募集しています。	世田谷GBERサポートデスク 電話:0570-021-221
「せたJOB応援プロジェクト」	「いつか手を付けたいと思っている仕事があるけれど時間がない」「1日1時間でも手伝ってほしい」「従業員の仕事の一部だけでも誰かにもお願いできないか」そんな仕事はありませんか?せたJOB応援プロジェクトは、人手が欲しい企業と、体調の波があるなどの理由で、長時間は働くことができない障害のある方とのマッチングを行う事業です。	世田谷区障害者就労支援センター すきっぷ すきっぷ就労相談室 分室クローバー 電話:03-5787-4355

(注)いずれも土・日・祝・年末年始を除く。受付時間はお問い合わせ先により異なります。

男女共同参画先進事業者表彰 歴代受賞事業者

※事業者名は受賞当時のものです。

表彰年	事業者名	表彰年	事業者名
平成19年度	株式会社ハートライフ	平成26年度	株式会社ニッポンダイナミックシステムズ
	株式会社日野		株式会社玉川繊維工業所
平成20年度	財団法人材料科学技術振興財団	平成27年度	中島食品株式会社
	株式会社島田電機製作所		高橋隆敏税理士事務所
平成21年度	ブリッジインターナショナル株式会社	平成28年度	医療法人社団SEASONS自由が丘整形外科
	株式会社メディネット		日本アルゴリズム株式会社
	株式会社アドバンスクリヤマ「シミズヤ」		株式会社東京組
平成22年度	医療法人社団大坪会 三軒茶屋病院	平成29年度	株式会社三恵
	株式会社信英商事		小杉造園株式会社
	株式会社井上香料製造所		株式会社澤速記事務所
平成23年度	世田谷信用金庫	平成30年度	株式会社メモリード東京
	株式会社石川製作所 東京研究所		株式会社エコ・エイト
平成24年度	株式会社ダスキン玉川	令和元年度	株式会社エス.ディー.ケイ
	医療法人柏堤会 奥沢病院		学校法人食糧学院東京栄養食糧専門学校
	株式会社 ユー花園		医療法人社団マイスター
	昭和信用金庫		株式会社伊澤製作所
平成25年度	利恵産業株式会社	令和元年度	株式会社ファイブスターズ
	医療法人社団大坪会介護老人保健施設 ホスピア三軒茶屋		株式会社キティクラブ
	東神開発株式会社		有限会社スパンク
平成26年度	株式会社市萬		株式会社ウエルナ

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。